



NPO法人 ゆいネット北海道

会報 Vol.1

理事長ご挨拶

～ゆいネット北海道設立1周年を迎えて～

ゆいネット北海道は、2008年に公益社団法人日本女医会の「十代の性の健康支援事業」の一環として「ゆいネット札幌会議」として発足しました。2011年には北海道女性医師の会が主体となって「ゆいネット北海道」へと発展し、性暴力の被害者を支援するとともに、子どもの健やかな成長を守る活動を行って参りました。2012年9月には、NPO法人（特定非営利活動法人）としての認定を受け、同年10月には、性暴力被害者支援センター北海道「SACRACH（さくらこ）」を開設しました。「SACRACH（さくらこ）」は、北海道と札幌市から委託を受け、性暴力の被害にあった女性に対する電話相談・医療支援等を行っており、これまで185件（2013年9月末現在）の相談に対応して参りました。

皆様のご支援・ご協力のお陰で無事に設立1周年を迎えることができ、大変喜ばしく思っております。

当法人の名称に使用した「ゆいネット」という言葉には、関係各機関や組織、個人の方々がお互いを“結ぶ”という意味が込められていますが、その名のとおり、設立準備から設立後の運営全般にわたり、本当に多くの方々の連携とご支援・ご協力をいただきました。北海道、札幌市、関係各機関及びご協力いただいた全ての皆さまに心より御礼申し上げます。

性暴力被害者支援は、医療、行政、警察、弁護士等、それぞれの分野で行われておりますが、個別事案の対応においては、個人的な人脈で連携の道を探るのが現状です。そのような状況の下、私たちの活動は、異業種間の横断的連携という意味からも一定の役割を果たしていると自負しております。

一方で、性暴力の被害者には迅速な対応が要求され、そのためのネットワークの構築・支援システムの確立と当法人及びSACRACH（さくらこ）の活動の市民への周知が今後の喫緊の課題でもあります。

私たちは、性暴力被害者の支援と子どもたちの健やかな成長を守るために、そして、将来的には北海道に性暴力被害者の救済のためのワンストップセンターを作ることを目指して、今後も精力的に活動の幅を広げて行く所存です。

今後とも、私たちの活動に多くの皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2013年10月

NPO法人ゆいネット北海道・理事長

堀本江美



性暴力被害者に対する支援活動について

● 性暴力被害者支援センター「SACRACH（さくらこ）」の性暴力被害者支援

性暴力被害者には専門家による十全な支援が不可欠ですが、ほとんどの被害女性は自分の身体や心が極めて危うい状態にあることさえ認識できず、専門家の支援を受ける方法も知らされていない状況にあります。性暴力被害者は精神的にも肉体的にも過酷な状況に追い込まれ、望まない妊娠や性感染症への対応や治療、精神的ダメージに対するカウンセリング、さらに法的対処も必要なケースもあります。被害者の救済と回復には、被害後の早い段階から各分野の専門家の支援を受けることが必要であり、どのような支援を受けるかによって、被害者の今後の人生が左右されると言っても過言ではありません。

ゆいネット北海道が運営する「SACRACH」は、上記のような認識に立って女性医師や弁護士等が連携する専門家集団ですから、「SACRACH」が性暴力被害者に対して行う相談・支援は、従来の相談や一般の婦人科による治療処置とは一線を画すものです。

平成24年度相談事業実績（平成24年10月1日から平成25年9月30日）

開設日数	総件数	新規	再相談	電話相談	面接相談	付添支援
245	185	128	57	170	6	9

相談内訳

強かん	強制わいせつ	DV	性虐待	痴漢	その他性被害	被害念慮	その他の犯罪	その他
50	12	22	31	1	17	3	2	47

● 性暴力被害者支援の看護職・アドボケーター養成

性暴力被害に遭われた方の心身の早期回復のためには、専門知識と技術を有する医療機関のスタッフと被害者に寄り添ってサポートできる支援者（アドボケーター）が、本人の意思を尊重した適切な対応を図ることが必要です。そこで、ゆいネット北海道では、北海道から委託を受け、性暴力被害者支援に携わる看護職やアドボケーターの養成講座を開催しています。

☆平成25年8月3日、4日、9月7日、8日の4日間に亘り開催した看護職養成講座には45名の方がご参加ください、熱心に被害者支援の在り方を学ばれました。

☆平成25年11月9日、10日、30日、12月1日には性暴力被害者アドボケーター養成講座を開催する予定です。性暴力被害者（児童も含む）の支援に携わる可能性のある機関・団体等の職員や性暴力被害者支援に関心のある方は、是非ご参加ください（募集人数40名・受講料無料）。

性暴力被害者アドボケーター養成講座受講者募集

北海道では、平成24年10月に性暴力被害者支援センター北海道(SACRACH)を札幌市及び特定非営利活動法人ゆいネット北海道との三者で開設し、性暴力被害者への総合的な支援に努めているところ。性暴力の被害にあった女性たちの多くは、恐怖と混乱の中で「誰にも言えない、知られたくない、考えたくない」と一人で悩みます。そのような場合は、できるだけ早く医療的・心理的支援を受け、それが非常に重要となります。そのためには被害にあった女性に寄り添い、適切にサポートできる支援者の存在が不可欠です。性暴力被害者であった女性に寄り添って相談でき、寄り添ってサポートする支援者「アドボケーター」を養成します。性被害と被害を受けたこと、強かん・痴漢が被害され、被害者を支援に携わるサポートできるような知識を得ていただくための講座です。受講者を次のとおり募集しますので、ご案内申し上げます。

【対象者】	【募集人数】	【受講料】
・性暴力被害者（児童も含む）の支援に携わる可能性のある機関・団体等の職員 ・性暴力被害者支援に関心のある方	40名	無料

【日程 全4日間】

11/9(土)・11/10(日)・11/30(土)・12/1(日)
[13:30~17:40] [9:30~17:20] [14:00~17:40] [9:30~17:20]

【場所】

札幌エルプラザ 4階 中研修室 9/12(土)~10/9(日)
【札幌市北区北8条西3丁目】

【申込・問い合わせ先】

特定非営利活動法人ゆいネット北海道（担当：小野寺）
TEL・FAX: 011-768-8600
E-mail: yuinetkensyu@yahoo.co.jp

主催 特定非営利活動法人ゆいネット北海道
（協賛機関は、北海道から委託を受けて実施するものです）

【申込・問い合わせ先】 NPO法人ゆいネット北海道（担当：小野寺）
TEL・FAX 011-768-8600（電話は平日13:00~18:00）
E-mail : yuinetkensyu@yahoo.co.jp

SACRACH 相談システム

今までは被害者の孤独には
重点がおかれませんでした。
私たちは性暴力被害者の生涯に
寄り添う支援も目指します。

まずはお電話ください
050-3786-0799



Sexual……性
Assault……暴力
Crisis……危機
Relief……安心
Assist……支援
Center……センター
Hokkaido……北海道

01 子どもの穏やかな
成長を支援

02 未成年、女性への
健康支援

03 性暴力被害者
支援活動

NPO法人
ゆいネット北海道

Q.相談員は
女性ですか？

A.全員女性です。

あなたのお話をき
きます

一緒にできること
を考えます。

産婦人科、精神科、弁護士等、
性被害を理解している協力機
関へご紹介します。

希望者には警察・病院への付
き添いも行います。

Q.相談員は
どんな方ですか

A.講習を修了した
性暴力被害支援
専門スタッフです。

カウンセリングが必要な方は
相談を継続できます。

電話相談

月～金 13:00～20:00 (土日祝祭日、12/29～1/3を
除く)

面接相談

1回30分 3回まで無料

付き添い支援

電話または面接相談をご利用の方には、関係機関（病
院、弁護士、警察、区役所など）への付き添い支援を
行っています（札幌市内）。

協力機関の紹介

産婦人科、精神科、弁護士等、性被害を理解している
協力機関へご紹介します。

あなたができること

ご家族・周囲の方へ

もし、あなたの身近な方が性暴力被害を受けたら、ショックを受け、怒りや悲しみで混乱するかもしれません。でも、あなたの混乱が被害を受けた本人に伝わると、被害者はますます追い込まれてパニックに陥ります。まず、あなたが落ち着いて冷静になることが必要です。そして、できるだけ早く専門の相談機関に相談しましょう。早ければ早いほど、被害を受けられた方の早期救済・回復につながります。

相談機関では、被害を受けられた方やあなたの秘密は固く守られます。

見守ってください。

励ましや過剰な心配は本人がつらくなるだけです。
本人の意思を尊重して見守ってください。

信じてあげてください。

こころとからだの回復にかかる時間には個人差があります。
本人の回復力を信じ
温かく支え続けてください。

責めないでください。

被害者本人を責めないでください。
被害者には落ち度も
責任もないことを
繰り返し伝えてください。

ご家族・被害者を支えているあなたも相談してください。

「どうやって被害者を支えていいかわからない。」
「話をきいてたら辛くなってしまった…。」
こんな思いを感じている方もいるかもしれません。

あなたのためにも、被害を受けられたかたのためにも、
辛い思いを抱えていたらぜひ相談をしてください。

子どもの健やかな成長を守るための活動について

ゆいネット北海道では、子どもの健やかな成長のために、性の健康と安全の啓発活動を行っています。

●男子の性教育についての講演会

平成25年7月20日に村瀬幸治氏を講師にお迎えし、講演会「男子の性教育“男子の性に光を！”～男が変われば“関係”が変わる～」を開催しました。

村瀬氏は、日本思春期学会名誉会員、性の健康医学財団評議委員、“人間と性”教育研究協議会監事であり、現在は一橋大学非常勤講師を努められ、性教育の第一人者として、全国各地で性教育の講演をなさっておられます。

今回は「男子の性教育」という視点のお話をしていただきましたが、従来、性教育といえば初潮教育から始まり、女性の視点から弱者保護について考えさせることが多い中で、男子の性に対する適切な教育がなされていないことによる男子の悩みが、その後の男女関係をゆがめているという村瀬氏の指摘には、改めて性教育のあり方を考えさせられました。

参加者の感想

思春期の男子が夢精や精通、マスターベーションについて家庭や学校等で正しい知識を得る機会がなかったことにより、自分が汚い身体や精神の持ち主であると悩み、その後も自己肯定感が持てずに、自由で楽しい男女交際ができないことさえもあるという村瀬先生のお話は大変衝撃的でした。

性的自己肯定感＝自分の性は価値がある、自分の性は意味がある、自分の性を大切に出来る、このように考えることができる人は、相手の性に対しても優しく出来るということを大人も子どもも学ぶべきだと改めて感じました。女子に対して「女のくせに」と言えば反発できるけれど、男子に対して「男のくせに」と言うと反発しにくいいため、男性は女性に対する優位性と暴力への神話性を身につけていくというお話にも納得しました。



●性の健康と安全教育についての出前講座

子どもたちが自分の身体のしくみや安全について正しい知識を身につけることは、子どもの自己肯定感を育てるとともに、あらゆる性暴力の被害から子どもを守るために必要です。

- 子どもワークショップ

対象：就学前児童から大学生まで

保育園、幼稚園、学校、児童会館、地域コミュニティ等で実施します。

※ 親子で参加していただき、子どもワークショップの前に大人ワークショップを行います。

- 親・子どもに関わる機関の職員等に対する出前講座

性の健康と安全教育についての出前講座をご希望の方はお気軽に事務局宛にご連絡・ご相談ください。

ゆいネット北海道 活動の軌跡

2008

8月24日 日本女医会『十代の性の健康』支援ネットワーク作り事業（東京）
11月23日 日本女医会子育て支援委員会、第1回ゆいネット札幌会議

2009

3月15日 日本女医会子育て支援委員会、全国ゆいネット連絡会（東京）
6月24日 日本女医会子育て支援委員会、第2回ゆいネット札幌会議
9月2日 第3回ゆいネット札幌会議
11月14日 第4回ゆいネット札幌会議

2010

2月4日 第5回ゆいネット札幌会議
3月7日 日本女医会子育て支援委員会、全国ゆいネット連絡会（東京）
5月27日 日本女医会子育て支援委員会、第6回ゆいネット札幌会議
7月3-4日,9月4-5日 子どもと女性の支援ボランティア養成講座

2011

2月20日 日本女医会『十代の性の健康』支援ネットワーク ゆいネット公開シンポジウム（東京）
5月初旬 日本女医会『現場で使える思春期の対応マニュアル～ゆいネット事案からの提案～』発行
7月14日 第7回ゆいネット札幌会議
10月23日 ゆいネット札幌講演会『学校の中の子ども』札幌学院大学教授 市川啓子氏、
『児童虐待について』日本子ども家庭総合研究所子ども家庭福祉研究部部長 山本恒雄氏

2012

2月19日 第8回ゆいネット札幌会議
3月29日, 4月14日, 性暴力被害者支援センター設立準備会
4月26日, 6月9日
7月12日 第9回ゆいネット札幌会議
8月19日 NPO法人ゆいネット北海道 設立総会
9月11日 NPO法人認定
10月1日 性暴力被害者支援センターSACRACH（さくらこ）始動
10月27日 ゆいネット北海道被害者支援講習会『性暴力被害者の実態と支援』性暴力救援センター大阪代表 加藤治子氏
10月27日 ゆいネット北海道設立記念講演会『大阪のSACHICOをあなたの地域に作るために』加藤治子氏
11月30日 第1回さくらこカンファレンス

2013

2月1日 第2回さくらこカンファレンス
2月11日 さくらこ関係機関連絡会議
2月18日 狸小路3丁目でさくらこのパンフレット配布
2月20日 北海道テレビ放送 「イチオシ」でさくらこ紹介
2月25日 さくらこ関係機関連絡会議
3月2-3日 性暴力被害者支援員研修会 加藤治子氏
3月20日 ゆいネット北海道講演会『逃げられない被害者』 帯広畜産大 杉田聡氏
3月30日 第3回さくらこカンファレンス
4月1日 さくらこ事務所移転
4月25日 さくらこ関係機関連絡会議
5月23日 第4回さくらこカンファレンス、ゆいネット北海道総会
7月20日 ゆいネット北海道講演会
『男子の性教育“男子の性に光を！”～男が変われば“関係”が変わる～』 一橋大学非常勤講師 村瀬幸浩氏
7月25日 第5回さくらこカンファレンス
8月3-4日 性暴力被害者支援に関わる看護職養成講座①
8月28日 平成25年度地域支援力スキルアップ研修会（北海道主催）講師派遣
9月1日 もっと知りたい私のカラダ（ウィメンズセンター大阪主催）講師派遣
9月7-8日 性暴力被害者支援に関わる看護職養成講座②
9月22日 性暴力支援センター全国連絡会議
9月27日 第6回さくらこカンファレンス



ゆいネット北海道 今後の主な予定

2013

10月4日 平成25年度人権擁護委員男女共同参画問題研修会 講師派遣
10月6日 ゆいネット北海道設立1周年記念チャリティコンサート
10月19日 北海道保険医会市民公開セミナー「女性が直面する性被害の実態－性暴力被害者支援センター（SACRACH・さくらこ）が開設されて－」 講師派遣
11月3-4日 性暴力被害者アドボケーター養成講座①
11月18日 室蘭・苫小牧保健所主催研修会 講師派遣
11月30-12月1日 性暴力被害者アドボケーター養成講座②

2014

2月6日 札幌高等裁判所主催研修会 講師派遣

女性が直面する性被害の実態は
10月19日（土）14時～17時
札幌学院大学 札幌キャンパス
講師 加藤治子氏
会場 札幌学院大学 札幌キャンパス 10号館 301号室
定員 30名
参加費 無料
申し込み 札幌学院大学 札幌キャンパス 10号館 301号室 加藤治子氏 まで
TEL 011-851-2111
FAX 011-851-2112
E-MAIL sakurako@yui-net.jp

SACRACH呼びかけ人

堀本 江美 (産婦人科医、北海道女性医師の会 副会長)	川崎 一彦 (東海大学教授)
小葉松 洋子 (産婦人科医、北海道女性医師の会 副会長)	宮崎 みち子 (札幌市立大学教授)
佐久間 文子 (内科医、北海道女性医師の会副会長)	伊藤 美枝子 (建築士)
澤田 香織 (内科医、北海道女性医師の会 会長)	市毛 智子 (弁護士)
新谷 朋子 (耳鼻咽喉科医、北海道女性医師の会理事)	上田 絵里 (弁護士)
塚本 江利子 (放射線科医、北海道女性医師の会副会長)	薄木 宏一 (弁護士)
長島 香 (産婦人科医、北海道女性医師の会 理事)	須田 布美子 (弁護士)
平山 恵美 (産婦人科医、北海道女性医師の会 理事)	竹間 朗子 (弁護士)
守内 順子 (内科医、北海道女性医師の会 副会長)	成田 教子 (弁護士)
加藤 治子 (産婦人科医、性暴力救援センター・大阪 代表)	日笠 倫子 (弁護士)
早乙女 智子 (産婦人科医、 性と健康を考える女性専門家の会会長)	秀嶋 ゆかり (弁護士)
対馬 ルリ子 (産婦人科医、公益社団法人日本女医会副会長)	安田 英里佳 (弁護士)
津田 喬子 (麻酔科医、公益社団法人日本女医会会長)	加々見 富美子 (歯科医)
濱田 啓子 (神経内科医、公益社団法人日本女医会理事、 BPW札幌クラブ会長)	向後 裕美子 (歯科医、北海道歯科女医会 会長)
木村 永一 (精神科医)	伴 幸子 (歯科医、 北海道保険医会組織部女性部会会長)
早苗 麻子 (精神科医)	小野寺 るみ子 (社会福祉士)
中野 育子 (精神科医)	熊谷 洋明 (一般社団法人リボンムーブメント)
上出 利光 (北海道大学教授、札幌西ロータリークラブ理事)	藤根 美穂 (小児科医)
片桐 由喜 (小樽商科大学教授)	

(敬称略・順不同)

性暴力被害者支援のため、24時間迅速サポートを目標とした相談窓口を創設し、各機関との連携をスムーズにする支援システム、ネットワーク構築を目指します。

ご寄附、賛助会員としてご支援いただいた皆様 (平成25年7月31日現在)

相木遙 生越玲子 安齋祐子 池端敏雄 石井克枝 今井幸 岩崎富美 岩崎麗美 遠藤香織 遠藤清子 遠藤征子 岡田恵 小川弥生 尾口雅恵 小倉菜穂子 奥山春野 小野寺るみ子 角谷正宏 金重恵美子 亀井恵子 川島恵子 川島留美 菅野範一 菅野美代子 菊池由生子 鬼頭拡美 木村祐子 木村桜子 工藤夏央 國田裕子 國吉貴子 久保詠美 合田由紀子 小葉松洋子 小林郁子 小林八重子 後平愛美 斉藤恵子 斉藤毅 斉藤康恵 柴田香織 笹生正恵 佐藤クニ 佐藤静子 澤田香織 三達正道 滋賀久美子 滋賀正夫 篠田江里子 白畑剛 鈴木昭 須田布美子 須田靖子 関崎弘美 泰知敦夫 高木理恵 高橋佳子 竹澤範子 竹澤晴光 竹澤有里 竹澤治男 竹澤光里 対馬ルリ子 敦賀律子 津田喬子 常見恵子 寺江公仁子 富岡美佳 長井桂 長井巻子 長島香 中野恵一 長峯美穂 中村節子 中村英敬 成田教子 西井中子 西野昭子 橋詰直孝 橋本葉子 畠山勝子 濱田啓子 原継美 原眞弓 春山仁志 日笠倫子 曳地加奈子 秀嶋ゆかり 平本利彦 平本美智子 平山恵美 廣川容子 廣瀬玲子 藤根美穂 伏見恵子 藤原靖 堀本江美 堀本正禎 前田ヨシ 松尾雅史 松原福丸 三浦仁美 三浦昌代 三戸由紀枝 三室芳江 三宅由美 宮崎みち子 宮本晶恵 宮本節子 村岡学 守内恵子 守内順子 守内玲寧 森川レイコ 八代眞由美 安田英里佳 山岸美喜 山田明子 山田昭子 山田典子 山本宏子 吉野一枝 和賀永里子 若山瑛子 渡邊哲史 渡辺美知子 渡辺由加利

足立皮膚科外科クリニック・ふるや内科・江別医師会・六条医院・北山会北山病院・国際ソロプチミスト札幌・泰伸データウェアハウス(株)・萌クリニック・Officeエトス・朋佑会札幌産科婦人科・とも耳鼻科クリニック・みよか内科クリニック・南4条クリニック・西尾皮膚科医院・野幌病院・札幌協和法律事務所・薄木法律事務所・やんべ皮膚科クリニック・清田ウィメンズクリニック・荒木法律事務所・ウィメンズクリニック札幌・(株)沢井建築工房・(有)プロ・アシスト・札幌西ロータリークラブ・はるとり法律事務所・田代皮膚科・社会医療法人禎心会・苗穂レディースクリニック・今井内科小児科医院・斉藤宏信法律事務所・(有)H.T.S・日本女医会・北海道女性医師の会

(※お名前掲載不可の方は記載していません)
(敬称略・順不同)

助成金：日本財団

ご支援、ありがとうございました。

ご寄附・賛助会員登録のお願い

NPO法人ゆいネット北海道は、北海道に性暴力被害者の救済のためのワンストップセンターを作ることを目指すとともに、子どもたちの健やかな成長を守るための勉強会や講演会等も行っていますが、活動資金が不足しているため、皆様からのご寄附を必要としています。

また、私たちの活動理念に賛同して賛助会員として入会していただける方も募集しておりますので、事務局までお問い合わせください。
皆様からの温かいご支援をお待ちしております。

払込取扱票											
00	小樽	口座記号番号									
0	2	7	0	0	4	9	8	5	9	8	円
加入者名 ゆいネット北海道											金額
E-mail: _____											料金
<input type="checkbox"/> 寄付で名前の公表を希望しない方は、 <input type="checkbox"/> にチェックを入れてください。											備考
おとこ(郵便番号)											日
おなまえ											附
(ご連絡先電話番号)											印
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (決済番号小第15841号) これより下部には何も記入しないでください。											

振替払込請求書兼受領証											
口座記号番号											
0	2	7	0	0	4						
加入者名 ゆいネット北海道											
金額											
おなまえ											
依頼人											
(郵便局印) 日 附 印											
料金											
備考											
この受領証は、大切に保管してください。											

編集後記

ゆいネット北海道の設立から1年が経ち、いつも多くの方々に支えられていただいていることに感謝申し上げます。
これまでの活動を通じて、性暴力被害者への支援は、個々の事案毎に何をどのように支援すべきか、そのためには誰の協力が必要なのかを専門家の視点で検討することが重要だと痛感しております。これからも性暴力被害者支援のスキルアップを目指して、また支援の輪が広がるよう努力して参りたいと思います。
今後共ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。
(小野寺るみ子・八代眞由美)

NPO法人ゆいネット北海道事務局

〒001-0012 札幌市北区北12条西2丁目2-2

TEL / FAX 011-768-8600

E-mail: yuinet121001@basil-ocn.ne.jp

HP : <http://yuinet-hokkaido.com/>